【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成28年3月17日(2016.3.17)

【公表番号】特表2015-508110(P2015-508110A)
【公表日】平成27年3月16日(2015.3.16)
【年通号数】公開・登録公報2015-017
【出願番号】特願2014-555970(P2014-555970)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｊ　11/08　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｊ　11/08　　ＺＡＢ

【手続補正書】
【提出日】平成28年1月29日(2016.1.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２４】
溶媒の蒸発、及び、引き続く、３０～１２０℃の温度範囲での乾燥法、好ましくはその際に温度の下方範囲では低圧が使用され、それにより、投入された溶媒が分離でき、そして、プロセス中に戻すことができる。場合によっては、そのとき、依然として残存する溶媒残滓を、適当な脱気での押出によっても除去できる。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項７】
不織布、織物及びタフテッド織物において互いに組み合わせて使用される前記原材料成分が、少なくとも一種の成分が膨潤させるために膨潤剤と混合される際に、第一の相としてポリマーゲルを形成し、該相は、最大８０重量％の膨潤剤を含有し、温度もしくは圧力によって誘発された分離と同時に又はその分離後に第二の相を形成し、該第二の相中には、少なくとも一つの別の原材料成分が溶解して存在し、そして、場合によっては、第一の相にも第二の相にも存在しない、不溶性の物質が、ろ過又は沈殿によって該ポリマーゲルから分離されることを特徴とする、請求項１～６のいずれか一つに記載の方法。
【手続補正３】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項８】
分離された、依然として溶媒を含有する原料が、３０～１２０℃の範囲の温度における乾燥により、場合によっては低圧の存在下において、溶媒を遊離され、そして分離されることを特徴とする、請求項１～７のいずれか一つに記載の方法。
【手続補正４】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１３

【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１３】
前記回収され、種類毎に純粋な原材料成分が、その原材料成分が果たしていたそれぞれの役割で、不織布、織物及びタフテッド織物、好ましくは、人工芝において使用されることを特徴とする、請求項１～１２のいずれか一つに記載の方法。